

# 自校史教育が高校生の進路選択に及ぼす影響に関する研究(1)

## —進路指導の改善と大学に関する情報提供の充実—

小宮山道夫 小池 聖一 西原 利典 宮本 浩治

### 1. はじめに

広島大学では平成13(2001)年より教養教育において総合科目「広島大学の歴史」と称する自校史教育を実施している。同講義は複数教員によるオムニバス形式で、低年次の学部学生を想定した内容構成をとっている。学生たちが現在所属している広島大学の歴史について、多角的な視野で学ぶ機会を提供するとともに、広島大学の現在と未来とを考える視座を提供することにつとめている。それを通じて、広島大学で学ぶことの意味について自ら考えてもらうとともに、構成員の一員としてのアイデンティティーの確立を学生に促すことを目標としている講義である。

これまでの実践を通じて認識することは、学生たちの多くは、自身の将来にとって影響力が大きい可能性のある大学進学に関して、ほとんど予備知識のないままに入学していることである。それは日本の大学教育制度に対する知識はもちろん、自身が通っている大学の歴史ばかりか特色についてさえ、情報を与えられることなく、また本人もあまり関心を抱かないまま進学している向きが見受けられるのである。「広島大学の歴史」は自由選択科目であり、100名程度が受講しているにすぎない。ものごとの歴史に興味を持つ者やこの講義のシラバスを見て興味を抱いた者が受講しているにも関わらず、そのような状況であることを勘察すれば、全学生の認識状況は推して知るべしと言えよう。

近年、入学希望者と進学先大学とのマッチングが重要な課題となっており、インターネットなどの情報ツールの発達やオープンキャンパスなどによる大学側の積極的な情報発信により、学生は高校生の時期から大学に関する詳細な情報を入手し、あるいは体験を通じて大学を選択することが可能な時代となってきた。入学希望者の進路選択の際に重要なのは、一義的には受験科目や入学後の教育内容、卒業生の進路など、個別大学の現状についての情報提供であるが、それに加えて個別大学史および大学制度全体に対する情報を提

供することが、入学希望者の大学に対する認識をより高めることとなると考える。なぜならば、個別大学の歴史的経緯や日本の大学制度全体に対する理解を受験生に提供できれば、その大学が持つ個性をより深く理解させることができ、また入学後にその大学の構成員としての自覚、アイデンティティーの形成に寄与することができるからである。

入学希望者と進学先大学との相互理解が高まることは、現在のアドミッションオフィス入試(AO入試)の実施などの入学者選抜方法改革の目的にも合致するもので、5月病や不本意入学の問題を軽減する可能性も考えられる。前述の「広島大学の歴史」を受講した広島大学生の状況を考えた場合、このような講義を、入学後の学生に対してではなく、受験や自身の将来像について具体的に思い悩みはじめる時期にある高校生に対して実施し、大学選択と大学進学後の大学生活の充実感に関して、生徒にどのような影響力を及ぼさだろうかと思いついたのが本研究のきっかけである。

そこで、本研究においては本学および附属学校の歴史についての授業を通じ、広島大学のみならず日本の大学教育制度に対する理解を深め、大学や大学進学の意味について考えさせる機会を提供し、そのことが生徒たちにとって自身の存在意義の理解や将来像の確立にどのように影響するかを検証しようとするものである。

### 2. 研究の対象および内容

本研究においては広島大学附属高等学校の平成18年度第1学年の全生徒を対象に(当日の受講者総数200名、アンケート回答者総数192名)、日本の大学史についての授業と広島大学の歴史についての授業、それぞれ50分の授業を提供した。授業にあたっては後掲の事前調査票(資料1)と事後調査票(資料2)とを配布して生徒の理解度および受講前後での認識の変化を中心に分析することを中心課題とした。

事前調査（アンケート）は11月6日に配布・実施した。授業は11月8日（水）の6・7時限のLHRの時間を利用し、次の内容で実施した。

第1講 講師：小宮山 道夫

題目：日本の大学とは何か—大学のあゆんだ歴史から—

概要：大学とは何か、日本近代における大学成立から現代の大学に至るまで、広島大学の前身校を例としながら、その歴史とそこに学ぶ者たちの姿や、総論的な大学像を提示し、大学に行くことの意味について考えてもらう。

第2講 講師：小池 聖一

題目：広島大学とは何か—大学の個性をみつめて—

概要：初代学長森戸辰男の存在と広島大学、爆撃都市に復活した大学としての広島大学など、広島大学がその歴史の中で培った個性について提示し、数ある大学のなか、個性ある大学に進学することの意味と価値について考えてもらう。

このような授業の実施後に事後調査票（資料2）を配布し、調査を実施した。準備と日程の都合上、事後調査は授業の直後に実施することはできず、12月7日に実施した。

研究期間は平成18年度から平成20年度の3年間とし、その期間に各学年に対し内容を変えて同形式の授業を提供し、卒業後の進学先を含んだ長期的な分析を実施する計画である。

なお、今年度は授業内容に附属学校の歴史を取り扱うことができなかつたため、高校生にとっては厳密には自校史教育と呼ぶことはできない。しかし授業内容は大学附属校の生徒という広島大学に関わりのある者として、聞く機会があっても良いものとなるよう配慮した。そしてカリキュラムとの兼ね合いとなるが、「附属学校の歴史」を取り扱った授業を次年度以降に導入する予定である。また、彼らの内には将来的に広島大学に進学する者もいる。これらの理由から本研究における上記の授業の呼称を自校史教育としておきたい。

3. 事前調査の結果

進学する大学について具体的に考えているかどうかについての回答をまとめると表1のようになる。クラスと性別によってもばらつきがあるが、男子生徒の48.5%、女子生徒の46.3%が、学年全体では47.4%の生徒が進学先の大学として具体的に考えていることがわかる。

その具体的な志望校の所在地についてクラスごとおよび学年全体の回答数を示したのが表2であり、その

比率を示したのが図1である。設問では複数回答を認めているので第一志望校の所在地を単純に比較することができないが、志望大学としてあがった大学の所在地は関東、近畿、中国の3地域で全体の9割近くをほぼ三等分している。地元志向と有名大学の集中する大都市圏への進学志向とが現れているといえよう。もちろん大学の全国的な分布状況や志望学部ごとの分布状況などとの厳密な比較をしなければあまり有効なデータとはならないが、このことから大学が身近にあることや各種メディアにより情報の得やすい大学を志望する傾向が強いことなど、その大学に対する情報の量を判断材料に志望校が左右されていることが推測できよう。

表1 進学大学の具体性

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. 考えている	16 (4)	18 (8)	14 (12)	20 (9)	23 (11)	91 (44)
B. 考えていない	23 (15)	17 (8)	26 (10)	19 (10)	16 (8)	101 (51)
回答数	39 (19)	35 (16)	40 (22)	39 (19)	39 (19)	192 (95)

注 ( ) 内は女性で内数を示す (以下、同様)

表2 志望大学の所在地

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. 北海道・東北	4 (0)	3 (0)	2 (2)	1 (0)	1 (1)	11 (3)
B. 関東	14 (4)	8 (3)	8 (6)	9 (4)	12 (6)	51 (23)
C. 甲信越・北陸	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
D. 東海	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	4 (2)
E. 近畿	9 (4)	8 (4)	7 (6)	11 (5)	14 (5)	49 (24)
F. 中国	7 (1)	12 (9)	7 (7)	12 (5)	8 (3)	46 (25)
G. 四国	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
H. 九州・沖縄	3 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (0)	7 (1)
I. 海外	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
回答数	40 (10)	32 (16)	26 (22)	35 (14)	39 (16)	172 (78)

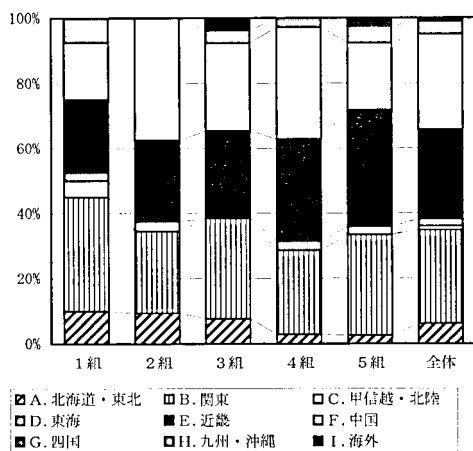


図1 志望校の所在地

「授業内容への興味」(表3および図2)は、今回の授業の説明に対して、どの程度興味を抱いているかを

尋ねた質問である。7.1%が「とてもある」と答え、23.7%が「少しある」と答え、全体の30.8%が興味を抱いた。また17.2%が「あまりない」、11.8%が「全くない」と答え全体の29.0%が興味を示さなかった。

「広島大学への進学」(表4および図3)については、11.5%が「したい」、17.2%が「できればしたい」とのべ、全体の28.7%が広島大学への進学を希望していることがわかった。また、18.2%が「できればたくない」、8.3%が「したくない」と回答し、全体の26.5%が進学への興味を示していない。

表3 授業内容への興味(事前調査)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A.とてもある	3 (1)	0 (0)	5 (3)	2 (1)	2 (2)	12 (7)
B.少しある	9 (5)	8 (5)	7 (4)	8 (6)	8 (5)	40 (25)
C.どちらとも	20 (11)	14 (7)	16 (11)	19 (10)	19 (9)	88 (48)
D.あまりない	3 (1)	12 (4)	3 (2)	4 (2)	7 (2)	29 (11)
E.全くない	3 (1)	2 (1)	9 (2)	4 (0)	3 (1)	21 (5)
回答数	39 (19)	36 (17)	40 (22)	37 (19)	39 (19)	190 (96)

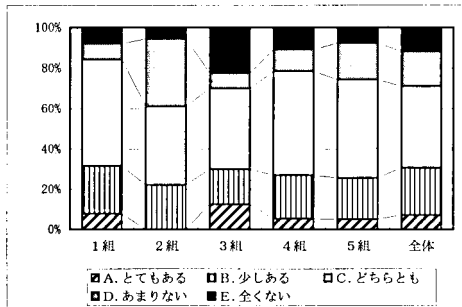


図2 授業内容への興味(事前調査)

表4 広島大学への進学(事前調査)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A.したい	5 (3)	4 (4)	4 (2)	6 (2)	3 (1)	22 (12)
B.できればしたい	6 (3)	8 (3)	8 (7)	6 (2)	5 (3)	33 (18)
C.どちらとも	18 (10)	18 (10)	16 (6)	15 (9)	19 (7)	86 (42)
D.できればたくない	10 (4)	4 (0)	7 (5)	8 (5)	6 (4)	35 (18)
E.まったくたくない	2 (0)	2 (0)	4 (1)	2 (1)	8 (4)	16 (6)
回答数	41 (20)	36 (17)	39 (21)	37 (19)	39 (19)	192 (96)

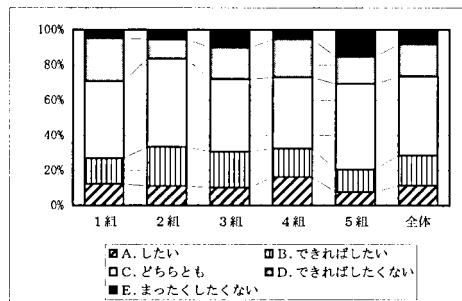


図3 広島大学への進学(事前調査)

#### 4. 事後調査

授業を受けた生徒に対して、個別の授業ごとと全体

を通じての意見を行く項目を設け、次の通り調査を行った。

#### (1)第1講「日本の大学とは何か」について

ここでは第1講についての質問項目を設定した。「期待適合度」(表5および図4)は事前に抱いていた期待にどの程度今回の授業が応えていたかを見るものである。「授業内容への興味」(表6および図5)は授業の内容に興味を抱くことができたかを見るものである。

「授業の難易度」(表7および図6)は授業内容が高校生の知識水準に適合していたかどうかを見るものである。「授業内容への満足度」(表8および図7)においては授業内容に対する生徒の評価を調査した。「他の附属生への推奨度」(表9および図8)は先輩や将来の後輩を含め、ほかの附属学校の生徒に今回の授業を勧めめるかどうか、「同年代への推奨度」(表10および図9)は附属学校以外の同年代の高校生に今回の授業を勧めめるかどうかを質問した項目である。それぞれの調査結果は以下の図表に示したとおり。

表5 期待適合度(第1講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A.期待通り	6 (1)	2 (1)	2 (1)	4 (0)	4 (2)	18 (5)
B.ある程度期待通り	11 (5)	3 (3)	12 (8)	14 (7)	16 (8)	56 (31)
C.どちらでも	17 (10)	18 (12)	24 (14)	19 (10)	19 (9)	97 (55)
D.あまり期待通りではない	2 (1)	9 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (1)
E.期待はずれ	0 (0)	2 (1)	3 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (2)
回答数	36 (17)	34 (17)	42 (23)	38 (18)	39 (19)	189 (94)

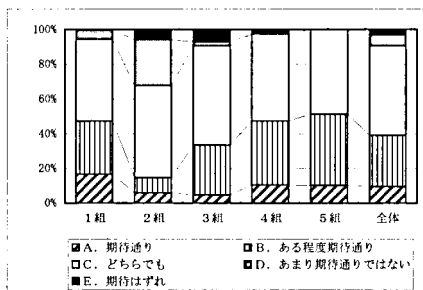


図4 期待適合度(第1講)

表6 授業内容への興味(第1講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A.とても興味を覚えた	4 (2)	1 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (1)	10 (4)
B.興味を覚えた	8 (3)	7 (5)	6 (4)	3 (2)	8 (8)	32 (22)
C.どちらでも	21 (11)	26 (11)	24 (18)	27 (11)	27 (9)	125 (60)
D.あまり興味を覚えなかった	2 (1)	1 (1)	2 (0)	5 (4)	2 (1)	12 (7)
E.全く興味をおぼえなかった	0 (0)	1 (0)	9 (0)	1 (1)	0 (0)	11 (1)
回答数	35 (17)	36 (17)	42 (23)	38 (18)	39 (19)	190 (94)

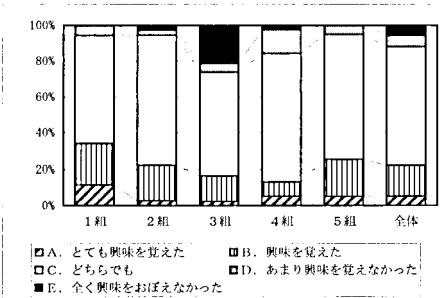


図5 授業内容への興味 (第1講)

表7 授業の難易度 (第1講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても難しかった	0 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	6 (6)	12 (6)
B. 難しかった	6 (5)	5 (4)	1 (0)	3 (3)	3 (2)	18 (14)
C. 適度だった	28 (11)	28 (12)	29 (19)	28 (13)	31 (17)	144 (72)
D. 易しかった	2 (1)	2 (1)	5 (3)	5 (2)	3 (0)	17 (7)
E. とても易しかった	0 (0)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	2 (0)	7 (1)
回答数	36 (17)	36 (17)	43 (23)	38 (18)	45 (25)	198 (100)

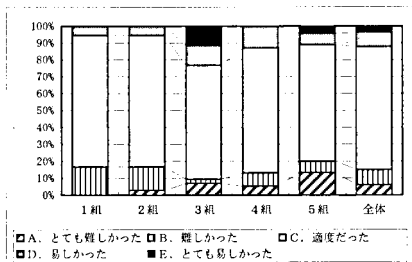


図6 授業の難易度 (第1講)

表8 授業内容への満足度 (第1講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても良かった	3 (2)	2 (1)	2 (2)	2 (0)	1 (0)	10 (5)
B. 良かった	16 (8)	8 (4)	18 (15)	7 (3)	7 (7)	56 (37)
C. どちらでもない	15 (7)	24 (11)	16 (6)	27 (13)	31 (12)	113 (49)
D. あまり良くなかった	1 (0)	2 (1)	2 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (3)
E. 全く良くなかった	0 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
回答数	35 (17)	36 (17)	43 (23)	38 (18)	39 (19)	191 (94)

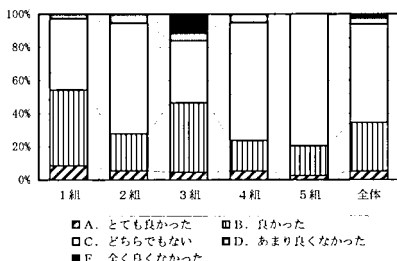


図7 授業内容への満足度 (第1講)

表9 他の附属生への推奨度 (第1講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても勧めたい	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	6 (0)
B. 勧めたい	6 (5)	3 (2)	2 (2)	3 (2)	1 (1)	15 (12)
C. どちらでも	24 (12)	30 (15)	28 (20)	32 (15)	35 (18)	149 (80)
D. 勧めたくない	2 (0)	3 (1)	6 (1)	2 (1)	1 (0)	14 (3)
E. 全く勧めたくない	1 (0)	1 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (0)
回答数	36 (17)	37 (18)	43 (23)	38 (18)	39 (19)	193 (95)

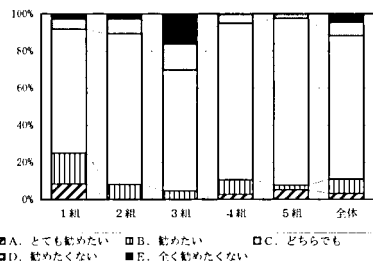


図8 他の附属生への推奨度 (第1講)

表10 同年代への推奨度 (第1講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても勧めたい	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
B. 勧めたい	7 (6)	6 (4)	8 (7)	5 (3)	4 (3)	30 (23)
C. どちらでも	20 (9)	25 (11)	24 (15)	29 (12)	32 (15)	130 (62)
D. 勧めたくない	4 (1)	3 (1)	2 (0)	3 (3)	1 (0)	13 (5)
E. 全く勧めたくない	1 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
回答数	33 (16)	34 (16)	41 (22)	38 (18)	38 (18)	184 (90)

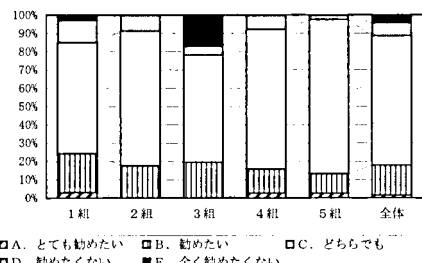


図9 同年代への推奨度 (第1講)

(2) 第2講「広島大学とは何か」について

アンケート調査結果は以下の図表に示たとおり。表11から表16および図10から図15は、第1講に関する調査結果である表5から表10および図4から図9と対応している。

第1講と第2講との評価の間には全体として大きな差はないが、若干の違いを述べれば次のとおりとなる。「期待適合度」に関しては、第2講の方が若干期待に届いていないようで、第1講はとくに2組の生徒の期待にはあまり応えられなかった。「授業内容への興味」に関しては3組の生徒からは「全く興味を覚えなかった」との

回答が多く寄せられ、第1講が21.4%、第2講が14.6%と他のクラスに比べて非常に高い比率で評価が低い。ただし3組のその他の事後調査項目についても概ね低い評価が多く、クラス集団の特性も影響しているものと思われる。「授業への満足度」に関しては第1講が「とても良かった」5.2%、「どちらかといえば良かった」29.3%と、全体で34.6%の良い評価、第2講が同じく3.9%、20.8%の全体で24.7%の良い評価を得て、若干第1講の方が好評であったようである。ところが「附属生推奨度」は第1講を10.9%の生徒が推奨(とても勧めたい)3.1%、勧めたい7.8%)するのに対し、第2講を14.8%の生徒が推奨(同前2.3%、12.5%)している。

表11 期待適合度 (第2講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. 期待通り	7 (4)	2 (1)	0 (0)	6 (0)	2 (1)	17 (6)
B. ある程度期待通り	15 (7)	8 (4)	12 (10)	15 (9)	15 (9)	65 (39)
C. どちらでも	10 (5)	20 (8)	23 (10)	15 (8)	21 (8)	89 (39)
D. あまり期待通りではない	2 (1)	3 (2)	3 (2)	1 (1)	1 (1)	10 (7)
E. 期待はずれ	0 (0)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
回答数	34 (17)	34 (16)	40 (22)	37 (18)	39 (19)	184 (92)

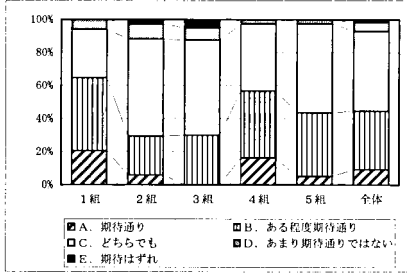


図10 期待適合度 (第2講)

表12 授業内容への興味 (第2講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても興味を覚えた	5 (4)	0 (0)	1 (1)	3 (1)	2 (2)	11 (8)
B. 興味を覚えた	7 (3)	8 (6)	10 (8)	12 (6)	5 (5)	42 (28)
C. どちらでも	21 (9)	23 (9)	21 (12)	19 (8)	26 (7)	110 (45)
D. あまり興味を覚えなかった	1 (1)	3 (1)	3 (1)	4 (2)	4 (4)	15 (9)
E. 全く興味をおぼえなかった	0 (0)	0 (0)	6 (0)	1 (1)	2 (1)	9 (2)
回答数	34 (17)	34 (16)	41 (22)	39 (18)	39 (19)	187 (92)

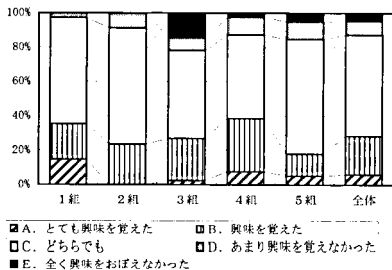


図11 授業内容への興味 (第2講)

表13 授業の難易度 (第2講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても難しかった	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)
B. 難しかった	5 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (3)	12 (5)
C. 適度だった	27 (14)	31 (15)	30 (18)	29 (17)	32 (15)	149 (79)
D. 易しかった	2 (1)	0 (0)	3 (2)	6 (0)	0 (0)	11 (3)
E. とても易しかった	0 (0)	0 (0)	5 (2)	0 (0)	1 (0)	6 (2)
回答数	34 (17)	33 (15)	41 (22)	36 (17)	38 (18)	182 (89)

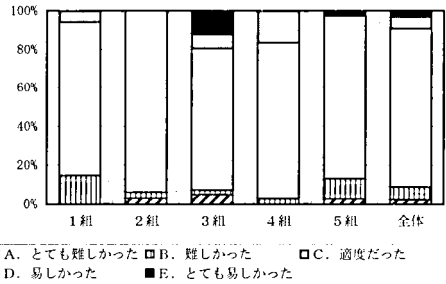


図12 授業の難易度 (第2講)

表14 授業内容への満足度 (第2講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても良かった	3 (2)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	7 (4)
B. 良かった	10 (5)	5 (3)	9 (9)	7 (5)	6 (5)	37 (27)
C. どちらでもない	18 (8)	27 (12)	23 (12)	27 (12)	29 (12)	124 (56)
D. あまり良くなかった	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (1)
E. 全く良くなかった	0 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (1)
回答数	32 (16)	33 (15)	39 (22)	37 (18)	37 (18)	178 (89)

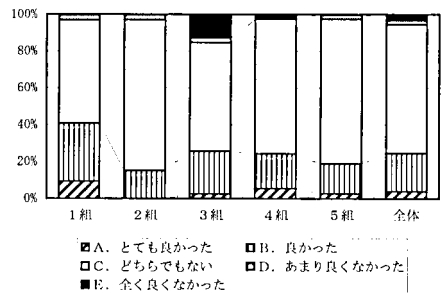


図13 授業内容への満足度 (第2講)

表15 他の附属生への推奨度 (第2講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても勧めたい	3 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (2)
B. 勧めたい	5 (4)	5 (4)	4 (4)	5 (4)	3 (2)	22 (18)
C. どちらでも	20 (9)	27 (11)	27 (18)	29 (12)	32 (15)	135 (65)
D. 勧めたくない	2 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (1)	2 (1)	10 (2)
E. 全く勧めたくない	1 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
回答数	31 (15)	33 (15)	39 (22)	36 (17)	37 (18)	176 (87)

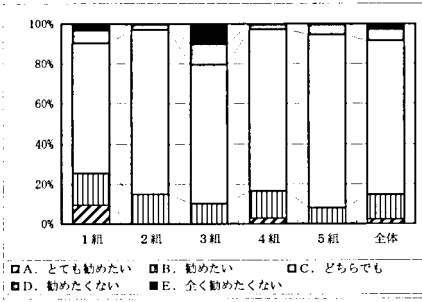


図14 他の附属生への推奨度 (第2講)

表16 同年代への推奨度 (第2講)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても勤めたい	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (1)
B. 勤めたい	6 (5)	5 (4)	5 (5)	1 (0)	1 (1)	18 (15)
C. どちらでも	21 (8)	25 (10)	26 (17)	30 (16)	35 (17)	137 (68)
D. 勤めたくない	2 (1)	2 (0)	3 (0)	2 (1)	1 (0)	10 (2)
E. 全く勤めたくない	0 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
回答数	31 (15)	32 (14)	39 (22)	35 (17)	37 (18)	174 (86)

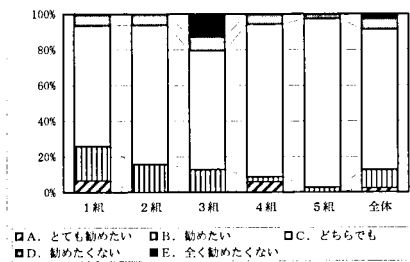


図15 同年代への推奨度 (第2講)

(3) 授業全体について

ここでは二つの授業を通じて、日本の大学や広島大学への認識がどう変化したか(表17および図16ならびに表18および図17)を調査した。関連して「志望校の変化」(表19)は授業を受ける前後の志望校に変化が生じたかどうかを、「広島大学への進学」(表20および図18)は、授業を受けて広島大学へ進学することをどう考えるようになったかについて質問した項目である。最後に「授業の続編」(表21および図19)として、今後の授業の継続を望むかどうかを尋ねた。調査結果を示せば以下の図表のとおり。

表17 日本の大学に関する認識

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても変わった	4 (2)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (2)
B. ある程度変わった	9 (5)	5 (4)	7 (4)	4 (2)	6 (4)	31 (19)
C. どちらでも	14 (7)	22 (8)	26 (17)	27 (12)	26 (10)	115 (54)
D. あまり変わらなかった	3 (1)	3 (2)	0 (0)	2 (2)	4 (3)	12 (8)
E. 全く変わらなかった	1 (0)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	1 (1)	7 (2)
回答数	31 (15)	32 (15)	38 (21)	35 (16)	37 (18)	173 (85)

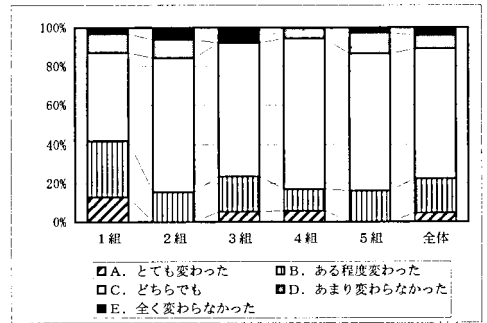


図16 日本の大学に関する認識

表18 広島大学に関する認識

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても変わった	0 (0)	2 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	5 (2)
B. ある程度変わった	9 (4)	3 (1)	7 (4)	8 (4)	5 (3)	32 (16)
C. どちらでも	22 (10)	24 (9)	25 (16)	27 (13)	28 (12)	126 (60)
D. あまり変わらなかった	3 (1)	3 (3)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	10 (6)
E. 全く変わらなかった	1 (1)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	7 (1)
回答数	35 (16)	33 (14)	38 (21)	38 (18)	36 (16)	180 (85)

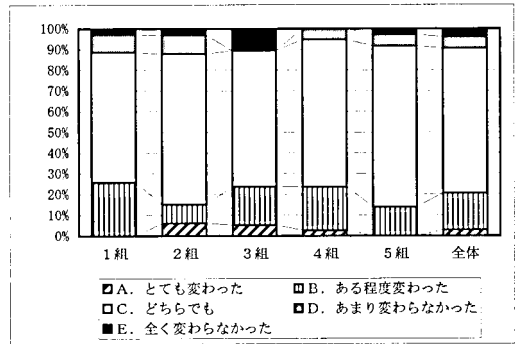


図17 広島大学に関する認識

表19 志望校の変化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. 変化した	6 (2)	2 (0)	3 (3)	5 (2)	2 (1)	18 (8)
B. 変化しなかった	28 (14)	29 (14)	32 (16)	33 (16)	29 (14)	151 (74)
回答数	34 (16)	31 (14)	35 (19)	38 (18)	31 (15)	169 (82)

表20 広島大学への進学

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても進学したい	1 (1)	4 (2)	4 (3)	5 (0)	3 (1)	17 (7)
B. できれば進学したい	8 (3)	7 (4)	7 (6)	5 (4)	4 (3)	31 (20)
C. どちらとも	14 (8)	18 (9)	14 (7)	21 (9)	16 (5)	83 (38)
D. できれば進学したくない	6 (2)	4 (0)	6 (3)	5 (4)	5 (3)	26 (12)
E. まったく進学したくない	5 (2)	0 (0)	6 (2)	2 (1)	7 (4)	20 (9)
回答数	34 (16)	33 (15)	37 (21)	38 (18)	35 (16)	177 (86)

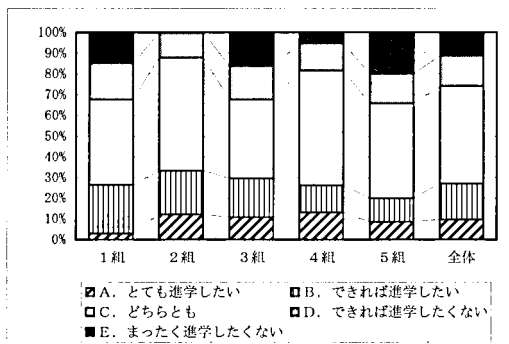


図18 広島大学への進学 (事後調査)

表21 授業の続編

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A. とても受講したい	1 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (1)	6 (2)
B. 受講したい	7 (3)	4 (1)	6 (5)	6 (3)	5 (3)	28 (15)
C. どちらとも	20 (9)	17 (9)	19 (13)	16 (8)	18 (5)	90 (44)
D. あまり思わない	6 (3)	7 (4)	4 (3)	7 (4)	7 (4)	31 (18)
E. 全く思わない	1 (0)	4 (1)	8 (0)	6 (3)	4 (3)	23 (7)
回答数	35 (16)	33 (15)	37 (21)	38 (18)	35 (16)	178 (88)

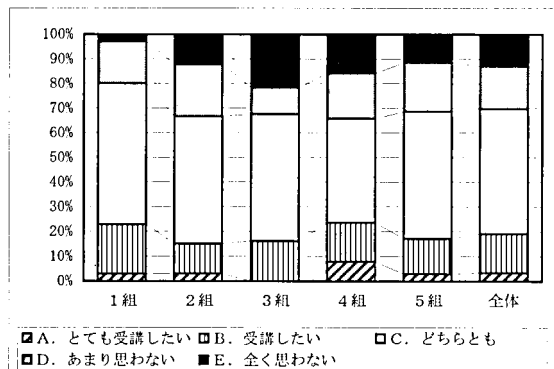


図19 授業の続編

## 5. 小括

今年度の調査は初の試みであるとともに、調査に関して事前に十分な検討期間を設けることができなかった。このため、調査の実施時期や対象者、質問項目と分析の方法等の検討に厳密さを欠く嫌いがある。また、アンケート調査項目（近親者の出身大学を問う設問など）の現場判断での削除など、調査実施に関する説明が行き届かぬ点もあったことは関係者にお詫びしたい。しかしアンケート調査結果を総合的にみると、わずか2回、計2時間たらずの授業を実施したにすぎず、また事後調査まで一カ月間あいてしまったにもかかわらず、一定の効果が認められたのは幸いであった。

授業を実施した結果、1年生全体の22.5%の生徒が日本の大学に対する認識が変わったと答え、20.6%の生徒が広島大学に対する認識が変わったと答えた（変

わらなかったとの回答は、それぞれ11.0%、9.4%）。さらに11.9%の生徒が志望校が変化したと答えた。広島大学への進学については、進学を望む者が28.6%から27.1%に減少したが、広島大学に進学したくない生徒も26.6%から26.0%に微減した。これらのことは、それまで情報不足から進学先を印象でのみ判断していた生徒に対し、今回の授業がその再考を促す有効な情報提供の機会となり得たことを示しているのではないかと考える。また、全体で19.1%の生徒から授業の続きを受講したい（とても受講したい3.4%、受講したい15.7%）との回答があったことは、受験情報とは直接関係のない、今回のような大学史や個別大学史の授業も、高校生の進路選択のうえでの予備知識として認められたことを示唆するようで興味深い結果となった。今後希望者に対する続編の実施も視野に入れねばなるまい。

本調査は生徒たちの最終的な進路選択結果までもを想定した長期計画の調査であり、本報告は調査の全容を示したのではなく、今後のデータの蓄積とそれらのデータを総合的に用いた分析を継続する予定である。本稿に述べられなかった内容については次回以降で詳述することとしたい。

最後になったが、本調査の実施に当たっては附属学校教諭で研究分担者の西原利典、宮本浩治両教諭はもちろんのこと、第1学年の担任の先生方、そして何よりも1年生の皆さんには貴重な時間を割いてご協力いただいた。ここに記して謝意を表すとともに、来年度以降の継続的な協力をお願いする次第である。

## 資料1 事前調査表

下記の設問について、それぞれの回答欄にお答えください。本調査票に回答頂いた内容（個人情報）は、本研究の目的以外に利用することはありません。

あなたが大学進学について考えていることについてお答え下さい。

【すべての方にお聞きします】

1. 進学する大学について具体的に考えていますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

A 具体的に考えている

B まだ考えていない（設問6へお進みください）

【以下は、設問1で「A 具体的に考えている」と答えた方にお聞きします】

2. 行きたい大学の所在地域を次の中から選んで下の回答欄に記号でお答え下さい（最大3地区まで・同一地区での複数回答可）。また、具体的な都道府県名または都市名がわかればそのすべてをお書き下さい。

A 北海道・東北地区（北海道／青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県）

B 関東地区（東京都／神奈川県／埼玉県／千葉県／

茨城県／栃木県／群馬県)

- C 甲信越・北陸地区 (山梨県／長野県／新潟県／富山県／石川県／福井県)  
D 東海地区 (愛知県／静岡県／岐阜県／三重県)  
E 近畿地区 (大阪府／兵庫県／京都府／滋賀県／奈良県／和歌山県)  
F 中国地区 (岡山県／広島県／鳥取県／島根県／山口県)  
G 四国地区 (徳島県／香川県／愛媛県／高知県)  
H 九州・沖縄地区 (福岡県／佐賀県／長崎県／熊本県／大分県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県)

I 外国

(回答欄)

地区記号 都道府県名・都市名など

1. ( )  
2. ( )  
3. ( )

3. 行きたい大学が具体的に決まっていれば、わかるところまでお答えください。

(回答欄)

第1志望	立	大学	学部	科
第2志望	立	大学	学部	科
第3志望	立	大学	学部	科

4. 設問3で回答した地区あるいは設問4で回答した大学を選んだ理由をお答えください。

5. 現在あなたが進路として具体的に考えている大学について、参考にした意見があれば次の選択肢の中から選び、その上で影響力の大きい順に並べて下さい。

A 父親の意見 B 母親の意見 C 兄姉の意見  
D 祖父母の意見 E 親類の意見 F 教師の意見  
G 友人の意見 H その他(具体的に)

(回答欄)

影響力の序列 > > > > > >

影響力がないもの ( )

「H その他」を選んだ場合の具体的な内容

【設問1で「B まだ考えていない」と答えた方にお聞きします】

6. まだ考えていない理由について、思い当たる理由をすべてお答えください。

【すべての方にお聞きします】

7. あなたの家族に大学卒業者もしくは現在大学に通っている方(短期大学を含む)がいますか。いる場合にはその方とあなたの続柄と出身大学名をわかる範囲ですべてお答え下さい。

(回答欄) 続柄 出身大学名

1. ( )  
2. ( )  
3. ( )  
4. ( )  
5. ( )  
6. ( )

【すべての方にお聞きします】

8. あなたが大学に期待している(求めている)ことは何ですか。

【すべての方にお聞きします】

9. あなたが大学についてイメージしていることをお答えください。

今回実施される授業(別紙「研究協力のお願い」参照)に関して、以下の設問にお答え下さい。

【すべての方にお聞きします】

10. 授業の内容について興味を覚えますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思う記号を右側の回答欄にお書き下さい。

A とても興味がある B すこし興味がある  
C どちらでもない D あまり興味がない  
E 全く興味がない

【設問10でAまたはBと回答した方にお聞きします】

11. 興味を覚えた理由についてお書きください。

【設問10でDまたはEと回答した方にお聞きします】

12. 興味を覚えない理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

13. 授業の内容について期待していることがあればお書きください。

【すべての方にお聞きします】

14. あなたは広島大学に進学したいと思いませんか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思う記号を右側の回答欄にお書き下さい。

A とても進学したい B できれば進学したい  
C どちらともいえない  
D できれば進学したくない  
E まったく進学したくない

【設問13でAまたはBと回答した方にお聞きします】

15. 進学したいと思う理由をお書きください。

【設問13でCと回答した方にお聞きします】

16. 広島大学への進学を躊躇する理由をお書きください。

【設問13でDまたはEと回答した方にお聞きします】

17. 広島大学に進学したくない理由をお書きください。

【すべての方にお聞きします】

18. 広島大学のイメージについて自由にお書き下さい。

以上、ご協力ありがとうございました。

## 資料2 事後調査表

下記の設問について、それぞれの回答欄にお答えください。本調査票に回答頂いた内容(個人情報)は、本研究の目的以外に利用することはありません。

今回実施された授業に関して、以下の設問にお答え下さい。

第1講「日本の大学とは何か」についてお答えください。

【すべての方にお聞きします】

1. 授業内容は受講前の期待通りでしたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。



- A 期待通りだった
- B ある程度は期待通りだった
- C どちらでもない
- D あまり期待通りでなかった
- E 期待はずれだった

【設問1でDまたはEと回答した方にお聞きします】

2. 期待していた内容と比べ、特にどこが違っていたかお書きください。

【すべての方にお聞きします】

3. 授業内容には興味を覚えましたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても興味を覚えた
- B 興味を覚えた
- C どちらでもない
- D あまり興味を覚えなかった
- E 全く興味を覚えなかった

【設問3でAまたはBと回答した方にお聞きします】

4. 興味を覚えた理由についてお書きください。

【設問3でDまたはEと回答した方にお聞きします】

5. 興味を覚えなかった理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

6. 授業内容の難易度について、次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても難しかった
- B 難しかった
- C 適度だった
- D 易しかった
- E とても易しかった

【設問6でAまたはBと回答した方にお聞きします】

7. 難しいと感じた理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

8. この授業を受けて良かったと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても良かった
- B 良かった
- C どちらでもない
- D あまり良くなかった
- E 全く良くなかった

【設問8でAまたはBと回答した方にお聞きします】

9. 良かったと思った理由についてお書きください。

【設問8でDまたはEと回答した方にお聞きします】

10. 良くなかったと思った理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

11. この授業をほかの広大附属の生徒たちにも勧めたいと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても勧めたい
- B 勧めたい
- C どちらでもない
- D 勧めたくない
- E 全く勧めたくない

【設問11でAまたはBと回答した方にお聞きします】

12. 勧めたい理由についてお書きください。

【設問11でDまたはEと回答した方にお聞きします】

13. 勧めたくない理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

14. この授業を附属生徒以外の同年代の高校生にも勧めたいと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても勧めたい
- B 勧めたい
- C どちらでもない
- D 勧めたくない
- E 全く勧めたくない

【設問14でAまたはBと回答した方にお聞きします】

15. 勧めたい理由についてお書きください。

【設問14でDまたはEと回答した方にお聞きします】

16. 勧めたくない理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

17. この授業を受けてもっと知りたいと思ったことがあればお書きください。

第2講「広島大学とは何か」についてお答えください。

【すべての方にお聞きします】

18. 授業内容は受講前の期待通りでしたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A 期待通りだった
- B ある程度は期待通りだった
- C どちらでもない
- D あまり期待通りでなかった
- E 期待はずれだった

【設問18でDまたはEと回答した方にお聞きします】

19. 期待していた内容と比べ、特にどこが違っていたかお書きください。

【すべての方にお聞きします】

20. 授業内容には興味を覚えましたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても興味を覚えた
- B 興味を覚えた
- C どちらでもない
- D あまり興味を覚えなかった
- E 全く興味を覚えなかった

【設問20でAまたはBと回答した方にお聞きします】

21. 興味を覚えた理由についてお書きください。

【設問20でDまたはEと回答した方にお聞きします】

22. 興味を覚えなかった理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

23. 授業内容の難易度について、次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても難しかった
- B 難しかった
- C 適度だった
- D 易しかった
- E とても易しかった

【設問23でAまたはBと回答した方にお聞きします】

24. 難しいと感じた理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

25. この授業を受けて良かったと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても良かった B 良かった  
C どちらでもない D あまり良くなかった  
E 全く良くなかった

【設問25でAまたはBと回答した方にお聞きします】

26. 良かったと思った理由についてお書きください。

【設問25でDまたはEと回答した方にお聞きします】

27. 良くなかったと思った理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

28. この授業をほかの広大附属の生徒たちにも勧めたいと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても勧めたい B 勧めたい  
C どちらでもない D 勧めたくない  
E 全く勧めたくない

【設問28でAまたはBと回答した方にお聞きします】

29. 勧めたい理由についてお書きください。

【設問28でDまたはEと回答した方にお聞きします】

30. 勧めたくない理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

31. この授業を附属生徒以外の同年代の高校生にも勧めたいと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても勧めたい B 勧めたい  
C どちらでもない D 勧めたくない  
E 全く勧めたくない

【設問31でAまたはBと回答した方にお聞きします】

32. 勧めたい理由についてお書きください。

【設問31でDまたはEと回答した方にお聞きします】

33. 勧めたくない理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

34. この授業を受けてもっと知りたいと思ったことがあればお書きください。

授業全体をとおしての感想をお答え下さい。

【すべての方にお聞きします】

35. 受講したことで日本の大学に関する認識は変わりましたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても変わった B ある程度変わった  
C どちらでもない D あまり変わらなかった  
E 全く変わらなかった

【設問35でAまたはBと回答した方にお聞きします】

36. 認識が変わった理由についてお書きください。

【設問35でDまたはEと回答した方にお聞きします】

37. 認識が変わらなかった理由についてお書きください。

【すべての方にお聞きします】

38. 受講したことで広島大学に関する認識は変わりましたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの

記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても変わった B ある程度変わった  
C どちらでもない D あまり変わらなかった  
E 全く変わらなかった

【設問38でAまたはBと回答した方にお聞きします】

39. 認識が変わった理由についてお書きください。

【設問38でDまたはEと回答した方にお聞きします】

40. 認識が変わらなかった理由についてお書きください。  
41. 受講したことによって、事前調査書に回答した「進学したい大学」には変化が生じたか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思うものの記号をひとつだけ右側の回答欄にお書き下さい。

- A 変化した  
B 変化しなかった (設問44へお進みください)

【以下は、設問41で「A 変化した」と答えた方にお聞きします】

42. 変化したあとの志望大学を具体的にお書きください。

(回答欄)

第1志望	立	大学	学部	科
第2志望	立	大学	学部	科
第3志望	立	大学	学部	科

43. 変化した理由についてお答えください。

【設問41で「B 変化しなかった」と答えた方にお聞きします】

44. 変化しなかった理由について、思い当たる理由をすべてお答えください。

【すべての方にお聞きします】

45. あなたは広島大学に進学したいと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思う記号を右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても進学したい B できれば進学したい  
C どちらともいえない  
D できれば進学したくない  
E まったく進学したくない

【設問45でAまたはBと回答した方にお聞きします】

46. 進学したいと思う理由をお書きください。

【設問45でCと回答した方にお聞きします】

47. 広島大学への進学を躊躇する理由をお書きください。

【設問45でDまたはEと回答した方にお聞きします】

48. 広島大学に進学したくない理由をお書きください。

【すべての方にお聞きします】

49. 今回の授業の続きを実施するとしたら、あなたはその授業を受けたいと思いますか。次の選択肢の中からもっともふさわしいと思う記号を右側の回答欄にお書き下さい。

- A とても思う B 思う  
C どちらともいえない D あまり思わない  
E まったく思わない

【すべての方にお聞きします】

50. その他、気付いたこと、感想など自由にお書き下さい。

以上、ご協力ありがとうございました。